

面接/Face-to-face

学則第9条の5対象：対象外/Not Applicable

Article 9-5 of the Undergraduate Regulations applies

10403311-066

△2年次演習関連科目-66（開発経済学のデータ分析）

2単位/Unit 秋学期/Fall 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Second Year Advanced Seminar-66（Data Analysis for Development Economics）

手島 健介

<概要/Course Content Summary >

実証分析の論文，レポートを書くために必要となる基礎的なスキル（文献検索，プレゼン，論文執筆），およびデータ分析でよく使われる手法の基礎を固める。そのため受講生の主体的な学びを期待する。本科目の内容は開発経済学に限らず，応用ミクロ(国際経済学，都市経済学，労働経済学，環境経済学など)分野のデータ分析に興味がある学生であれば有用であると考え

<到達目標/Goals,Aims >

データ分析に使われる手法のアイデアを理解できるようにすることをめざす。そのうえで，以下のスキルに関して1年生ゼミである程度基本を学んだことを前提に実際に自分が興味ありデータ分析をしたいことについて生かせるようにすることをめざす。

- ・研究プロポーザルがどんなものかわかるようになる
- ・そのための資料・情報を検索，収集することができるようになる
- ・アイデア，成果などのプレゼンテーションができるようになる
- ・仲間と共同作業を行い，議論ができるようになる

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week" >

あり / Deliver the video

URL は各学期の DO Week 開始日までに公開されます。The URL will be available by the day before the start of the DO Week of each semester.

<授業計画/Schedule >

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
	授業計画外の学習/Assignments		
第1週 DO Week	1	オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	90分/min.
		講義について解説する 復習	
第2週	2	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第3週	3	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第4週	4	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第5週	5	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第6週	6	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第7週	7	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。 復習	
第8週	8	面接/Face-to-face	90分/min.
		研究アイデア議論，研究スキル講義，計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。	

	復習		
第9週	9	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
第10週	10	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
第11週	11	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
第12週	12	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
第13週	13	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
第14週	14	面接/Face-to-face	90分/min.
	研究アイデア議論, 研究スキル講義, 計量ソフトウェア実習などを適宜組み合わせで行う。		
	復習		
授業期間終了後/ After the Class Period	15	オンデマンド (動画視聴) /On-demand(watching video)	90分/min.
	総評など		
	復習		

教科書の輪読, 応用例の講義, アイデアの議論などを行う。進捗や参加者の興味に応じて順序を入れ替えたり内容を変更したりすることがある。データ演習も参加者の関心, 希望によって行うことを考える。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1170分/min.
オンデマンド (動画視聴) /On-demand(watching video)	180分/min.
オンデマンド (授業内課題) /On-demand(assignment in class)	0分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0分/min.
その他/Others	0分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350分/min.

アクティブラーニング/Active Learning

ディスカッション / Discussion, プレゼンテーション / Presentation, 実習 / Practical Training

使用システム/System tools

e-class, Panopto

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(出席, クラス参加, グループ作業の成果等) 25%

期末レポート試験・論文 25%

クラスで発表など 25%

クラスへの貢献度 25%

最終的に分析アイデアなどをまとめたものを期末レポートとして提出してもらう。その段階に至っていない場合は報告してもらった資料で代替する。その他の項目は主体的な参加, 他の報告者へのコメント, 積極的な話題提供などを総合的に評価する。

<テキスト/Textbook >

伊藤公一朗『データ分析のカー因果関係に迫る思考法ー』(光文社, 2017), ISBN:978-4334039868

中室 牧子・津川友介『『原因と結果』の経済学ーデータから真実を見抜く思考法ー』(ダイヤモンド社, 2017), ISBN:978-4478039472

<参考文献/Reference Book >

計量経済学の教科書を同時並行して勉強することを勧める。あるいは希望に応じて計量経済学の学習も本科目中に行うこと

がありえる。この参考文献は講義開始時，講義中に適宜指示する。

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

授業開始後連絡する。

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

授業開始後連絡する。